

おめでとう!

のり



田代未来づくり10年計画（2021-2030）

南九州市：田代地区公民館

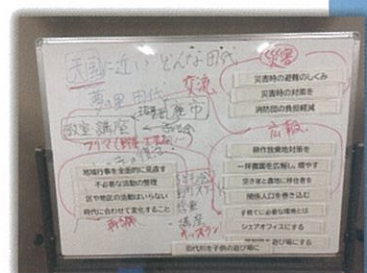
もくじ

【本編】

基本的な考え方	1
5つのよかプロジェクト	1
よかど～ いっど！田代	2
① 農地を活かそう	3
② みんなで遊ぼう	4
③ 楽しくマルシェ	5
④ みんなとつながる	6
⑤ 地域を守る	7

【資料編】

田代の見どころ	8・9
アンケート結果	10・11
「#大好き田代」	12
SDGsとは？	13



はじめに ～10年計画策定にあたって～

小学校の閉校で寂しさを感じていたころ、田代の未来を考える企画をいただきました。若い世代を中心にメンバーを選出し、「田代未来プロジェクト」という名で月1回のクルー会議を1年間続けてみました。

各自治会や地区公民館の役員をはじめ、多くの住民との対話集会も開催し、ようやく5つのプロジェクトにまとめることができました。

この計画をもとに、10年後の田代、その後続く田代の姿を皆さんとともに「考動^{こうどう}」していきましょう。一人一人が動けば何かが必ず変わります。できることから始めましょう。

田代地区公民館 館長 西迫 幸一

【本編】

基本的な考え方

私は田代に住むカジカガエルのカーギーです。この田代地区は川辺峠のトンネルを越えてからの長い下り坂にあって、鹿児島市に隣接する南九州市の北の玄関口なのです。馬事公苑やオートキャンプ場、温泉施設にそば処、カフェが点在する素敵な地域です。国道沿いに6つの集落があり、私の住处でもあるきれいな川が流れ、にぎわいあふれる道の駅もあり、施設や交通環境に恵まれているのです。

田代北部には室町時代に人々が盛んに交流した山寺（宝福寺跡）があり、その街道沿いに栄えた地域でもあるのです。

平成31年3月に小学校が統廃合されたことで、人間たちはこれから何を拠点に地域づくりを進めればよいのか迷っているみたいで、たくさんの施設や自然を活かして色々な世代の人間が集まり、交流できるようにしていくことが、人口減少社会においても元気で楽しい地域を維持していく上で欠かせないのではないかと考えたみたいです。

私たちカエルにとっては、人間が少なく自然がいっぱいあるほうが住みやすいのですが、素敵な鳴き声を褒めてくれる人間が多いので協力していきたいと思っています。

さてさて、人間たちがどんなよかプロジェクトをつくったのか見てみようではありませんか。



5つのよかプロジェクト

よかプロジェクト① 農地を活かそう

よかプロジェクト② みんなで遊ぼう

よかプロジェクト③ 楽しくマルシェ

よかプロジェクト④ みんなとつながる

よかプロジェクト⑤ 地域を守る



おど〜いっど! 田代

田代地区には国道沿いに施設が点在しているものの、住民が常に活用し交流している状況ではありません。自然や田畑も小学校が元気な時は、親子で体験する企画が活発に行われていました。今後はさらに人口減少や高齢化が進むことを考えると、まずは田代住民が施設や自然を活かした活動を楽しみ、それらを次の世代に受け継いでいくことを考えていこうと話しました。住民自身が生活を楽しみ、その活動を内外に発信することで、交流人口や関係人口を増やしていくことができ、そのことが田代の活性化に繋がるのではないのでしょうか。

それで、今後10年間で「うったっど(始めよう!)」「そいじゃが(そうだね!)」「ひっとべ(思い切って!)」の3期に分けて、段階的に取り組んでいきます。

始動期 うったっど!

▶2021

まずはできることから。各世代の人々が自分のできることをできる時にやってみることが大切です。楽しみながら参加したくなるような工夫をしていきます。



活動期 そいじゃが!



活動が軌道にのったら次の作戦をたてます。さらに多くの人に参加できる方法や田代らしさを活かす方法など、みんなで話し合ってアイデアを出し合います。



発展期 ひっとべ!

▶2030

同じことを長く続けていると問題点が出てきます。時には思い切ってリニューアルすることも考えましょう。田代スタイルが定着してくれば最高です。



よかプロジェクト①

農地を活かそう



農地や空き地を活かした活動を、住民の交流の場として企画し、交流人口・関係人口拡大へと広げていく。

始動期 うったっど!

・四季を彩る花々を植えて景観を整え、憩いの場づくりを進める(小学校跡地、空き農地、道路脇、花壇等)

- ◇紫陽花
- ◇コスモス
- ◇桜
- ◇栗
- ◇果樹 など



活動期 そいじゃが!

・手作り作物(米、ソバ、野菜など)を食べて楽しむ
・参加型の農地活用や作って食べる活動へと広げる

- 例えば・・・
- ◇田畑のオーナー制度
 - ◇有償ボランティア
 - ◇就農者補助制度
 - ◇かかしコンテスト
 - ◇ジビエ料理
 - ◇軽トラ市

発展期 ひっとべ!

・田代独自の農地活用事業へと発展させる
・交流人口や関係人口を増やす

SDGsに取り組もう。(13ページ参照)



先人が築いてきた豊かな大地と森林を守り、作って食べる活動を地域の力で受けついでいきたい。



みんなで遊ぼう

田代の自然や施設を活かして、住民が体験できる場を増やし、交流人口・関係人口の拡大へと広がっていく。



始動期 うったっど！

- ・ 滝や川を活かした活動を試行する
- ・ 河川周辺の環境整備をする
- ・ 施設を活用した体験活動を試行する

小学校・道の駅・馬事公苑など

活動期 そいじゃが！

- ・ 参加型の自然体験活動を整える
- ・ 学校跡地をみんなの憩いの場にする
- ・ カジカガエルが響く郷を整える



発展期 ひっとべ！

- ・ 田代独自の自然体験事業を整える
- ・ 交流人口や関係人口を増やす

例えば…
◇山寺（宝福寺跡）や八瀬尾の滝などのハイキングコース
◇川釣り、カヌー、キャンプ
◇ボタン鍋

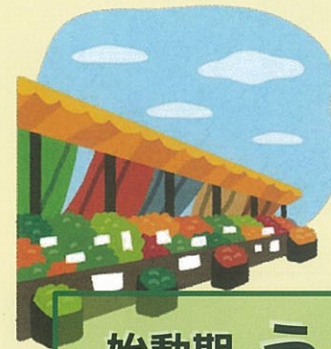
SDGsに取り組もう。(13ページ参照)



▶ 山に降った雨は川となり海へと続く。自然の中で遊び、自然を愛する心を親子で育てていきたい

楽しくマルシェ

田代住民が楽しく参加できる行事を企画しながら、行事や組織を見直し、課題解決のできる公民館活動へと移行する。



始動期 うったっど！

- ・ 参加型の交流行事を計画する
- ・ 自治会行事の伝統を活かす方策を検討する
- ・ 地区行事の見直しを話し合う



例えば…
◇大学生やグリーンツーリズムとのコラボ

活動期 そいじゃが！

- ・ 道の駅や鏡石湯、馬事公苑等を活かした参加型のマルシェを考える
- ・ 地区と区と自治会の行事を整理・統合し、行事から事業へ移行する



発展期 ひっとべ！

- ・ 田代独自の「交流市（マルシェ）」を定着させる
- ・ 田代独自の事業推進のための組織を整える
- ・ 交流人口や関係人口を増やす

・ 伝統工芸
・ 蒔絵
・ 螺鈿細工
など



SDGsに取り組もう。(13ページ参照)



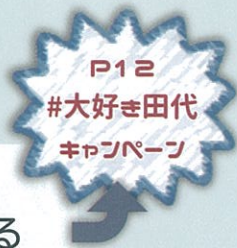
▶ あらゆる世代・人種・性別の人々が集い合い、考え、交流することで、楽しくやりがいのある活動が続けていきたい

みんなとつながる

関係人口について学び、議論し、田代の良いところを内外の人々に発信・交流する仕組みを整える。

始動期 うったっど！

- ・関係人口の先進事例を学ぶ
- ・SNSなどを活用して情報発信をする

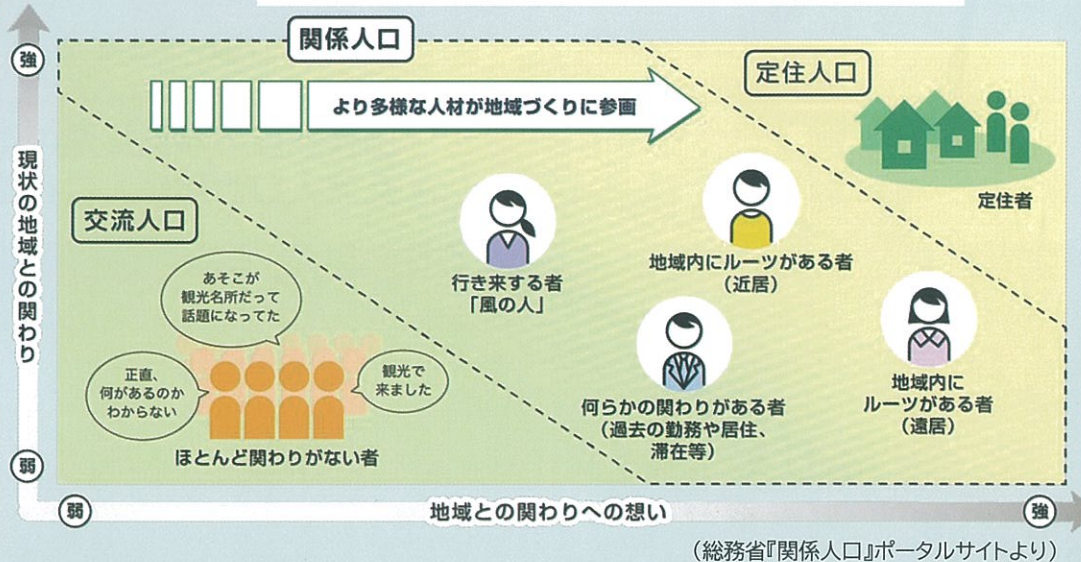


活動期 そいじゃが！

- ・関係人口に関する議論を高める
- ・SNSや情報誌による発信や交信を高める

発展期 ひっとべ！

- ・田代内外への情報発信拠点をつくる
- ・交流人口や関係人口を増やす



(総務省「関係人口」ポータルサイトより)

「関係人口」とは？

例えば、行事等に参加するために田代を訪れる人（交流人口）が、参加する度に田代のファンになり、繰り返し参加したり運営を手伝ったりするようになる。また、田代出身者が故郷を思い、活動を支援したいと思うようになる。このような人々を「関係人口」と呼びます。



SDGsに取り組もう。(13ページ参照)

- ▶ インターネットを通して世界の人々とつながり、協力しながら、田代らしい地域づくりを進めていきたい

地域を守る

空き家対策や高齢者の生活支援策など、人口減少に伴う地域課題の解決を進める。



始動期 うったっど！

- ・空き家調査について検討する
- ・自治会ごとの地域課題を調査する

- 例えば…
- ◇高齢者の交通支援
 - ◇防災時の声掛け対策
 - ◇包括ケアの仕組み

活動期 そいじゃが！

- ・使える空き家の活用について検討する
- ・地域課題解決のための組織をつくる
- ・地区や自治会、区の組織を見直す

発展期 ひっとべ！

- ・地域課題解決のための資金づくりをする
- ・田代にあった解決策を実行する



SDGsに取り組もう。(13ページ参照)



▶ 人口減少、高齢化が進んだとしても、だれひとり取り残さず、全ての人々が助け合える地域にしていきたい

田代の見どころ

田代は川辺と鹿児島を結ぶ街道沿いにあり、熊ヶ岳や八瀬尾の滝に代表される豊かな自然に恵まれています。室町時代に創建された熊ヶ岳の宝福寺（山寺）は歴代薩摩藩主の保護を受け、江戸時代にはお茶の栽培が行われていました。各集落に宝福寺とゆかりのある石祠や仏像が残っていて、宝福寺とともに発展した地域といえます。



⑤道の駅川辺やすらぎの郷



⑥桜のトンネル



⑦旧木場田橋（石橋）



④旧 田代小学校
田代地区公民館

岩屋公園

木場田

南野元

桑水流

田代

南九州
川辺ダム I.C

南薩縦貫道

市崎野

内青折

中服良

下里

大田尾

田代

南九州
神殿 I.C

小栗栖

岩屋公園

花園

松尾城

迎方

中福良

至 川辺市街地

南九州
川辺 I.C

2.0

1.8

1.2

1.0

0.8

0.6

0.4

0.2



①宝福寺跡（山寺）
（今寺跡）

①

②

そば茶屋

森林馬事公苑
オートキャンプ場

鏡石湯

錦江台展望公園
スカイぱれっと



②市之瀬遺跡
（大野忠宗の墓）



③八瀬尾の滝



④田代桜（表紙）



アンケート

結果をまとめました！

令和2年3月に行いました住民アンケートは、10代から80代まで多くの皆様の協力が得られました。
田代の未来を考えるきっかけになる貴重な資料として活かしていきたいと考えています。
田代未来プロジェクト

アンケート配布数:	637
回収数:	377
回収率:	59.2%
有効回答数:	359
有効回答率:	95.2%

※中学生以上対象



有効回答の内訳

年代	男性	女性	未記入	計
中学～19歳	11	11	3	25
20代	5	7	1	13
30代	16	15	3	34
40代	13	16	4	33
50代	23	24	7	54
60代	48	39	14	101
70代	29	30	3	62
80代	11	23	3	37
計	156	165	38	359

※各テーマ上位3位を掲載

地域活動

	19歳以下			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			計	割合
	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空		
公民館で本当に必要な活動と不必要な活動を整理する必要がある。	3	4	0	3	3	1	8	9	3	8	11	3	11	12	3	17	17	8	9	6	0	2	5	0	146	41%
自治会はそのまま残し、区と地区公民館の組織を統合するのがよい。	1	1	0	0	0	0	3	3	0	4	8	0	4	4	1	22	15	7	13	10	1	3	4	2	106	30%
地域活動に若い世代の意見を多く取り入れるべきだ。	3	3	0	0	2	0	4	4	0	4	5	0	5	4	1	16	13	1	13	10	1	4	5	0	98	27%

【考察】若い人の意見も入れながら、活動や組織を見直し整理していこう

高齢者対策

	19歳以下			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			計	割合
	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空		
病院に行く交通手段がない人のために、送迎などの支援策を検討していく。	5	7	0	1	5	1	6	8	2	5	8	1	10	16	3	22	21	8	13	14	1	2	11	0	170	50%
買い物に行く交通手段がない人のために、送迎などの支援策を検討していく。	4	6	1	2	3	0	6	7	1	4	11	1	11	13	1	18	18	6	13	16	1	3	10	0	156	46%
各集落に移動販売車が来るように工夫していく。	4	3	1	1	3	0	7	4	0	1	3	2	8	12	0	14	15	5	7	8	0	1	7	0	106	31%
高齢者が楽しく集まれる場所を増やしていくべきだ。	5	3	0	0	2	0	2	5	0	7	6	2	6	7	0	18	12	6	5	10	0	4	6	0	106	31%

【考察】生活支援をしながら楽しく集まれる場所を作ろう

若者対策

	19歳以下			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			計	割合
	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空		
子どもを産み育てる環境を整え、若者夫婦への支援策を考えるべきだ。	1	5	0	0	4	1	4	7	1	6	4	0	5	8	1	14	10	4	13	8	0	1	4	1	102	30%
消防団や公民館役員等の負担を少なくする。	3	4	1	2	1	1	6	8	0	8	4	2	9	6	4	12	10	4	9	4	0	0	3	1	102	30%
若者がやりたいことは何かを聞き、実現に向けて取り組むべきだ。	0	3	0	0	0	1	2	1	1	2	3	0	4	6	3	14	10	2	9	9	1	3	7	2	83	24%
子どもと高齢者が交流できる場所をつくっていくべきだ。	3	3	1	0	2	0	1	1	0	2	6	2	7	6	2	10	13	1	4	6	2	1	5	1	79	23%

【考察】負担を軽くし、若者の意見を取り入れていこう

空き家対策

	19歳以下			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			計	割合
	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空		
空き家がどの程度あるのかを、まずは調査してみる。	9	8	2	2	4	0	5	8	1	7	7	2	10	10	4	20	17	7	16	15	2	1	7	1	165	48%
空き家を活用してどんなことができるのかを考えてみる。	6	3	1	0	2	0	5	7	1	3	8	2	9	6	1	12	14	3	15	8	0	3	2	0	111	32%
空き家や耕作放棄地の持ち主と話し、どうする考えなのかを確認する。	4	3	0	0	2	0	8	4	0	3	3	1	6	9	1	14	11	7	9	6	1	5	2	0	99	29%
空き家対策は地域では難しいので行政に任せる。	3	2	0	1	1	0	6	7	2	5	6	0	8	9	1	13	12	4	5	6	0	1	7	0	99	29%

【考察】空き家・耕作放棄地の活用に向けて前向きに取り組もう

学校跡地活用

	19歳以下			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			計	割合
	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空		
地域で活用するより企業等を誘致して働く場を増やすのが良い。	1	1	1	1	2	1	6	1	0	3	5	2	7	7	5	18	16	6	13	11	3	4	8	0	122	36%
校庭は地域で活用することが多いので今後も活用策を考えていくのがよい。	8	7	0	1	1	0	4	4	0	5	10	1	6	9	0	13	14	4	11	9	0	2	8	1	118	35%
地域で活用方法を考えるのは難しいので、市の方針に任せるのがよい。	0	1	1	0	1	1	8	6	1	2	5	0	7	6	3	17	11	5	10	15	3	3	11	0	117	34%

【考察】企業誘致も視野に入れて活用策を考えよう

新たな活動

	19歳以下			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			計	割合
	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空	男	女	空		
道の駅を活かして定期的なマーケット(朝市等)を開催する。	4	0	3	1	3	0	7	10	2	2	5	3	5	10	4	21	16	6	16	11	1	3	4	0	137	40%
「田代夏祭り」をもっと多くの人が集まる行事にする。	5	8	0	2	1	0	0	3	0	3	3	0	5	1	0	10	10	0	5	8	1	2	6	2	75	22%
田代で収穫される野菜や果樹やその加工品を作り、特産品として売り出す。	2	3	0	0	3	0	0	2	0	5	4	0	0	6	1	14	9	1	5	5	2	1	1	0	64	19%

【考察】道の駅を核に特色を活かした活動を考えよう

強く田代を思う人々の意見が多く出されています！

誰か一人が無理をしても続きません
(20代女性)

地域の高齢者がずっと地域でくらすようにする
(40代女性)

組織は状況に合わせて時代に合わせて変化しても良い
(60代男性)

地域の若者や高齢者も無理なく経験を活かせる場として活用できれば
(40代女性)

行事等を全面的に見直す時期にきている
(50代男性)

市内外の人々も活用できるようなオフィス
(50代男性)

この田代で過ごした13年間は一生の宝物です。だから、これからの田代が、若い人たちが帰ってきたいと思えるような場所になることを祈っています。
(20代女性)

「#大好き田代」 SNS キャンペーン

あなたは田代のどんなところが好きですか？

いつもの投稿にハッシュタグ「#大好き田代」を付けてアップしよう！

懐かしの写真や最近の見どころ、何気ない風景まで、このページに収まりきらないみんなの「#大好き田代」をまとめてみよう。

#大好き田代 #南九州市 #川辺町

使い方はとっても簡単。自分が写真や記事を投稿するとき、説明文の中に「#（半角シャープ）大好き田代」と入力するだけ。他にもハッシュタグを入りたい時は、スペースを空けて入力します。

「ハッシュタグ」とは、facebook や Instagram, Twitter などよく見かける「#」という記号のことです。同じタグが付けられた投稿は、検索するとまとめて見ることができます！

SDGsとは？



SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、「エス・ディー・ジーズ」と呼ばれています。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた共通目標です。その中身は大きく分けて下の17のゴールで構成され、さらに169の細かいターゲットが定められています。しかし、どうしても地球規模の話に聞こえてしまい、自分のこと、自分が暮らす地域のこととして考えにくいかもしれません。そこで、まずは自分の身近な地域の課題がどれに当てはまるか、「まちづくり」「ひとづくり」という観点で、できていること、いないことを整理してみましょう。そして、SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」地域づくりを目指していきましょう。

1 貧困をなくそう 	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	13 気候変動に具体的な対策を 	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
2 飢餓をゼロに 	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	8 働きがいも経済成長も 	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する	14 海の豊かさを守ろう 	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
3 すべての人に健康と福祉を 	あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	レジリエント(強靱)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーション(技術革新)の拡大を図る	15 陸の豊かさを守ろう 	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
4 質の高い教育をみんなに 	すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	10 人や国の不平等をなくそう 	国内および国家間の格差を是正する	16 平和と公正をすべての人に 	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
5 ジェンダー平等を実現しよう 	ジェンダー(社会的・文化的性差)の平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント(能力強化)を図る	11 住み続けられるまちづくりを 	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエント(強靱)かつ持続可能にする	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ(地球規模の協力関係)を活性化する
6 安全な水とトイレを世界中に 	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	12 つくる責任 つかう責任 	持続可能な消費と生産のパターンを確保する		